

今月のことば

鯉のぼりは
向かい風の中で
元気に泳ぐ
私は
向かい風の中で
どう生きる

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

小池秀章
こいけひであき

五月五日の子どもの日には、必ずニュースに鯉のぼりが登場します。以前、ある人から、「鯉のぼりは、風がないと元気に泳げない。鯉のぼりが元気に泳いでいるのは、向かい風を受けている時だ」ということを聞いて、感動したことがありました。そして、その時、「風あげの風も、向かい風の時、高く舞い上がる」ということが頭に浮かびました。

私たちは、人生において「追い風の時は善い時、向かい風の時は悪い時」と考えています。確かに追い風の時は、風に乗ってどんどん進むことが出来ます。しかし、向かい風の時は、本当に悪い時なのでしょうか。

『歎異抄』第二条に、「お念仏の教えを依りどころに生きる人は、妨げのない一筋の道を歩む人です（念仏者は無礙の一道なり）」（註釈版）836」という言葉があります。お念仏の教えを依りどころに生きると、妨げだと思っていたものが無くなるのでしょうか。そうではなく、妨げだと思っていたものが、妨げでなくなるのです。更には、妨げだと思っていたものが、プラスに転ぜられるのです。

向かい風の時は、悪い時としか受け取れない私に、「向かい風にも、大切な意味があるんだよ」と教えてくれるのが、仏さまの教え（お念仏の教え）なのです。

私たちも、人生の向かい風の中で、鯉のぼりや風のように生きることが出来たら、素晴らしいと思います。

合掌